

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月中		
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金(実施する場合) 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。		
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部		
		証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部		
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)		
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社になります。		みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行ならびにみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)		
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話 お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を 開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。
公告方法	電子公告によって行います。(https://www.carlithd.co.jp) ただし、事故その他止むを得ない事由によって電子公告による公告をする事ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。		
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部		

株主優待制度の
ご案内

毎期末（3月31日）、株主名簿に記載されている株主の皆さまに6月末に以下の通り株主優待としてUCギフトカードをお送りいたします。

所有株式数	内容	
	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100株～499株	UCギフトカード 500円分	同 1,500円分
500株～999株	UCギフトカード 1,000円分	同 2,000円分
1,000株以上	UCギフトカード 1,500円分	同 2,500円分

ご留意点

①保有期間については、3月末日および9月末日を基準とする当社株主名簿をもとに、同一の株主番号で、100株以上の当社株式を連続して保有している回数にて判定いたします。

◆保有期間3年以上とは…同一の株主番号で連続7回以上、100株以上を保有

適用対象例

2019年3月末

9月末

2020年3月末

9月末

2021年3月末

9月末

2022年3月末

100株
1回目

100株
2回目

100株
3回目

100株
4回目

100株
5回目

100株
6回目

100株
7回目

保有期間3年

長期保有
スタート

②所有株式数については、優待発送の基準日時点の所有株式数のみで判定いたします。

絵：福井正文

カーリットホールディングス株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目17番10号
TEL：03-6893-7070 FAX：03-6893-7050

https://www.carlithd.co.jp

カーリットHD 検索

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

中間株主通信

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

— 無限の可能性をカタチに —

カーリットホールディングス株式会社

証券コード 4275

経営理念《信頼と限りなき挑戦》の下、 モノづくりやサービスの提供を通じて社会課題の解決に貢献し、 持続可能な社会の実現を目指します。

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの2021年度上半期（2021年4月1日～2021年9月30日）が終了しましたので、決算の概要および今後の事業展開についてご報告申し上げます。

2021年度上半期の業績について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた前年の同期と比較し、総じて回復基調となりました。

化学品事業部門では、自動車用緊急保安炎筒（発炎筒）、電池開発の活況による受託評価分野、5G関連・パソコン向けの電子材料関連製品など、利益性の高い製品・サービスの販売好調が利益の向上に寄与しました。

ボトリング事業部門は、人流の増加により自販機・コンビニ向けが回復しました。

産業用部材事業部門では、半導体用シリコンウェーハ、ばね・座金製品が、エンジニアリングサービス事業部門では、塗料販売・塗装工事、構造設計の好調が継続しました。

これらの結果以下の通りとなりました。

》連結業績ハイライト（単位：百万円）

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
16,006	1,039	1,137	1,020
(前年同期比18.8%増) 	(前年同期比405.7%増) 	(前年同期比263.3%増) 	(前年同期比653.5%増) 

※2021年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用したため、これを反映した数値を記載しております。

2021年度通期の見通しについて

今年度は、3か年の中期経営計画「ワクワク21」の最終年度となります。当社グループの持続的成長に向け、「利益指向で事業の足場固めを積み重ね、新たな取り組みに向けた経営資源の投入を推進する」ことを基本テーマとして掲げ、実現に向けて取り組んでおります。

数値目標につきましては、9月29日に以下の通りの上方修正を発表しました。

これは、新型コロナウイルス感染症に伴う影響の継続、自動車の減産、原材料・燃料価格の高騰等の懸念材料はあるものの、上半期の好調の継続と経費削減により当初の予想を上回る見込みとなったことによります。

》2021年度連結業績予想（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
修正前	31,000	1,800	1,900	1,300
修正後	33,000	2,200	2,300	1,800

※2021年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用したため、これを反映した数値を記載しております。

今後の取り組みについて

当社グループは、モノづくりやサービスの提供を通じて社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会を実現することを目指しております。次期中期経営計画においても、「ESGと利益ある成長」を両輪として策定を進めております。

また、来年度に移行される東京証券取引所の新市場区分につき、「プライム市場」への選択申請を決定しました。環境・社会・ガバナンスへの一層の強化、取り分け対応への要求が高まりをみせている気候変動に関しても積極的・能動的に取り組んでまいります。

事業の成長につきましては、当社グループのコア技術を踏まえたアイテムの「選択と集中」を進め、化学品分野、半導体・電池・宇宙関連を中心に、成長性が見込まれ、かつSDGsのゴール達成に寄与する分野に経営資源を投入してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

モノづくりを通じたサステナビリティ

「モノづくり」という当社グループの事業活動を通じて社会課題の解決に貢献し、社会と会社の持続性ある相互成長を目指します。主な製品・サービスをご紹介します。

半導体用シリコンウェーハ／(株)シリコンテクノロジー

単結晶シリコンとシリコンウェーハ

単結晶シリコンを作るための装置設計や制御は、ノウハウの塊となっています。作られた単結晶は完全なものではなく、石英ルツボ等からの不純物や格子欠陥が必ず含まれます。実は、「制御された」不純物や欠陥が存在することが、お客さまのIC等の製品特性にとって必要とされており、単結晶製造の「奇跡とも言えるバランス」をとって、必要とされる特性に応じて品質を制御しています。

ウェーハを作る装置は、切ったり・削ったり・磨いたり、と、「熟練した職人が扱って」初めて最高の性能が発揮される高精度な工作機械のようなものです。これに加えて、ウェーハには、溶かしたり・洗ったりと、重要な科学的要素も含まれます。蓄積された情報を活かして、装置の変動を抑え込むように条件を変動させ、高品質で安定したウェーハを作っています。

超高精度シリコンウェーハ

MEMS（Micro Electro Mechanical Systems：微小電気機械システム）の大多数は200mm以下の小口径シリコンウェーハが基盤として用いられ、微細なMEMS構造を作りこむために「均一な厚さを有する」高精度なウェーハが必要とされます。

高精度化には複雑で高度な技術が必要です。高精度研削機を導入して最先端、且つ独自の研削工程をプロセス化し作り込むことで、小口径100mm～150mmウェーハでは「世界最高の精度」となるサブミクロンオーダーの「均一な厚さ」を実現しました。

身の回りには半導体デバイスが満ち溢れ、半導体に囲まれて生活していると言っても過言ではない状態になっています。生活を潤す半導体デバイスを超小型・高精度・低価格で身近なものとした立役者がMEMSです。MEMSによって、従来はcmサイズであったセンサー類等を、半導体の微細製造技術を使ってmm～umサイズの超小型に縮小し、例えば車やスマートフォンにはMEMSが一台あたり数十個も搭載されています。各種のセンサーやマイクロフォン、高周波フィルターやスイッチのほか、様々な用途に使われ、MEMSの市場規模は急速に拡大しています。

移りゆく、小口径ウェーハへの期待と需要

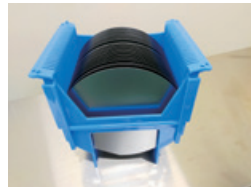
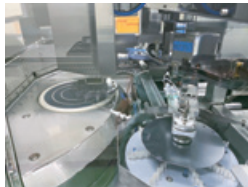
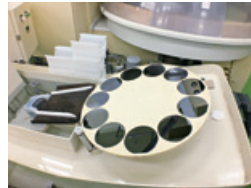
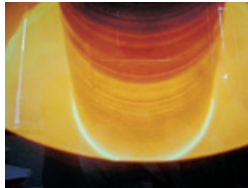
これまで、小口径ウェーハは価格が重視されていましたが、高精度が求められる用途が生まれ、急速に成長しています。超高精度ウェーハは今後、5Gに対応する高周波用途でも大幅な伸長が期待されています。

これからも高付加価値で高い品質が求められる成長市場へと参入し、暮らしを豊かにする半導体を提供していきます。

生産する小口径ウェーハを取り巻く環境が大きく変わってきています。最近では増加する半導体の需要に小口径ウェーハも供給が追いつかず、自動車や家電等々の生産が制限されるような事態となっています。

当社も、需要の増加に応じて生産能力を大幅に増加させました。小回りが利く国内で唯一のウェーハメーカーとしてユーザーからの期待に応え、新たな需要や不足する供給量に対応し、半導体を支える現代社会のなかで産業と経済の発展に貢献してまいります。

対応するSDGs



電池の受託評価／日本カーリット(株)

近年、リチウムイオン電池等の蓄電池は自動車や携帯電話、パソコン、家電製品等、身の回りの様々な場所で用いられています。世界中で地球温暖化の主な原因である二酸化炭素（CO₂）の排出量を抑制する動きが活発で、自動車ではガソリン車から電気自動車にシフトするなど蓄電池は急速に広まり、そして大型化しています。このようななか、蓄電池の試験需要は年々増加すると考えられます。

電池試験所

日本カーリット(株)の電池試験所では、ラミセルからモジュール、パックまでの多種形状に合わせた試験ができるよう、小電流から大電流までの電源と恒温槽を取り揃えており、お客さまのニーズにお応えできるような電池試験事業を行っています。蓄電池の充放電のサイクル試験はもとより、電池を使用する環境温度で制御して保存劣化を評価する保存劣化試験も行っています。

危険性評価試験所

危険性評価試験所では、発火・爆発が予想される試験を安全に実施できる設備を用意し、お客さまが要望される試験を行える場所の提供ならびに消防法に基づき危険物か非危険物かの判定や化学物質の危険性評価試験を行っています。蓄電池の耐火試験・短絡試験・釘差し試験・圧壊試験・水没試験等、近年注目されている電気自動車や家電用など様々な蓄電池の安全性評価試験にも対応できる試験所となっています。また、コロナ禍でご来所頂けないお客さまに向けたリモート試験を行っています。

これら2つの試験所によって、素材の危険性評価試験から蓄電池の充放電試験、そして安全性評価試験まで一貫した試験ができる体制を整えています。SDGsの7番『エネルギーをみんなにそしてクリーンに』では、「すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する」ことを目標としており、なかでも再生可能エネルギーへの取り組みは今後さらなる強化が必要とされています。

このクリーンで普遍的なエネルギーの安定化のために蓄電池は重要な役割を担っており、今後益々普及が進み性能と安全性の向上が求められるなか、当社は受託評価試験というサービスを通じて持続可能なエネルギーの拡大に貢献しています。

対応するSDGs



電池試験所



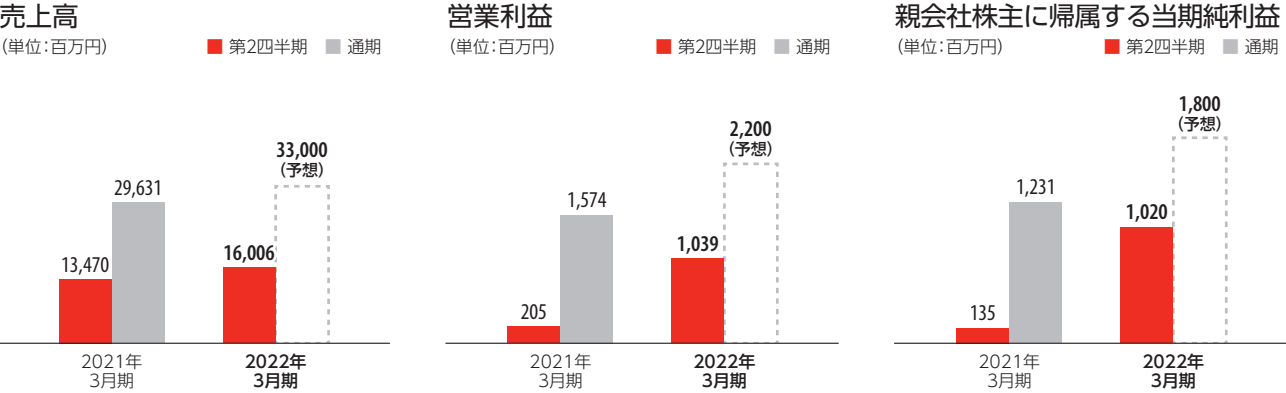
危険性評価複合施設



耐火試験

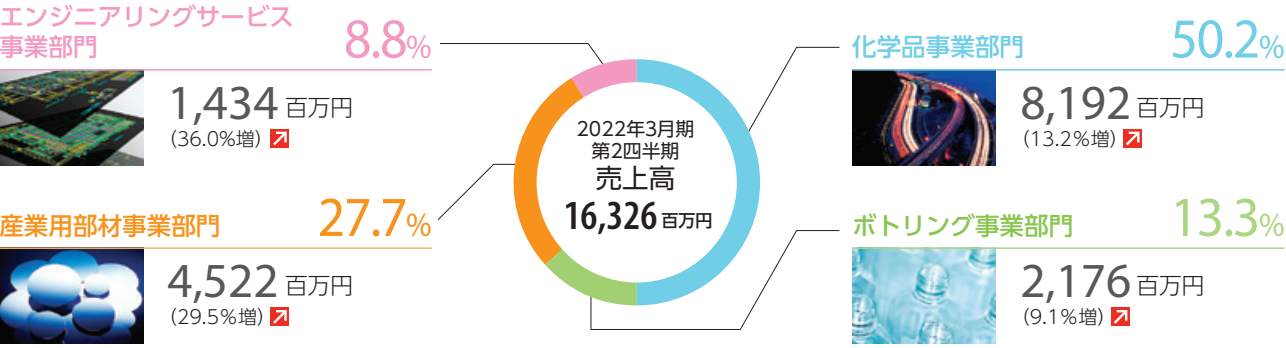
当期の業績について

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた前期から回復し、売上高、営業利益ともにすべての事業部門で増収増益
- ▶ 化学品事業では、5G関連・パソコンの需要活況や、受託評価試験の電池開発の活況等の影響により、増収増益
- ▶ 産業用部材事業では、シリコンウェーハの半導体需要の拡大傾向の継続や、耐熱炉内用金物の回復により、増収増益



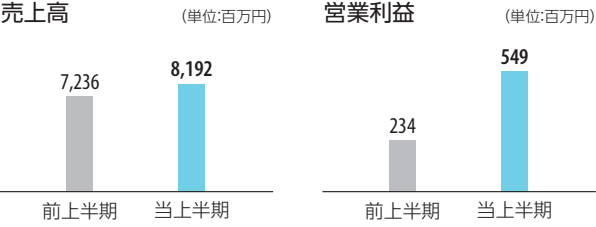
※2021年3月期の実績については、「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算定した値を記載しております。

セグメント別売上高構成比



※その他、消去を除いた数値で表示しております。

化学品事業部門
CHEMICALS



売上高 8,192 百万円

営業利益 549 百万円

- 化薬分野においては、以下の要因により増収増益。
- ・産業用爆薬は価格改定により増収となったものの、原材料価格の高騰により減益
 - ・自動車用緊急保安炎筒は、新車向けは自動車の減産により減収となった一方、車検交換向けは車検入庫数の増加により増収、豪雨災害対策と安全意識向上によるガラス破壊具付への切替促進もあり、全体では増収増益
 - ・高速道路用信号焰管は、交通量の回復を受けた需要の増加により増収増益
 - ・煙火関連は、花火大会の中止継続により横ばい
 - ・宇宙産業では、固体推進薬の開発を顧客と共同で進行中。宇宙空間を模擬した真空燃焼試験を実スケールで実施し良好な結果が得られた
- 受託評価分野においては、以下の要因により増収増益
- ・危険性評価試験、電池試験とも電池開発の活況継続により増収増益
- 化成品分野においては、以下の要因により増収減益
- ・塩素酸ナトリウム（紙パルプ漂白剤）は、紙需要の回

主な事業内容

人々の安全を守る自動車用緊急保安炎筒、リチウムイオン二次電池などの受託評価試験、ロケット推進薬に使用される過塩素酸アンモニウム、パソコンなどに使用される機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品、研削砥石など、確かな技術により、人々の暮らしを支えています。



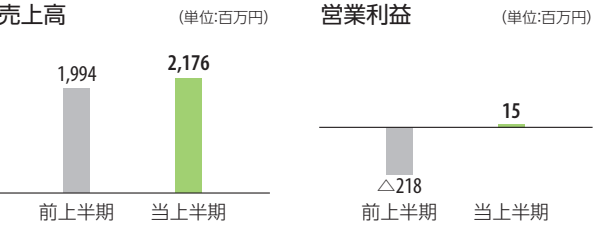
- 復により増収増益
- ・亜塩素酸ナトリウムは、殺菌・消臭用途における顧客の在庫調整により減収減益
 - ・過塩素酸アンモニウムは、ロケット打ち上げスケジュールの影響により減収減益
- 電子材料分野においては、以下の要因により増収増益
- ・電子材料関連製品は、5G関連・パソコンの需要活況により増収増益
 - ・機能材料関連製品は、オフィス用複合機向けの回復により増収増益
- セラミック材料分野においては、以下の要因により増収増益
- ・研削砥石生産量の回復に加え、拡販活動により大幅な増収増益
- 以上の結果、当事業部門全体の売上高は81億9千2百万円（前年同期比 9億5千6百万円増、同13.2%増）、営業利益は5億4千9百万円（前年同期比 3億1千4百万円増、同134.2%増）となりました。

ボトリング事業部門

BOTTLING

主な事業内容

人々の暮らしの必需品となったペットボトル飲料や缶飲料の受託製造を行っております。ペットボトル飲料の生産では容器生産、調合、充填、包装、検査まで一貫した生産システムを充実させ、主として茶製品を安定的かつ効率的に生産・供給しております。



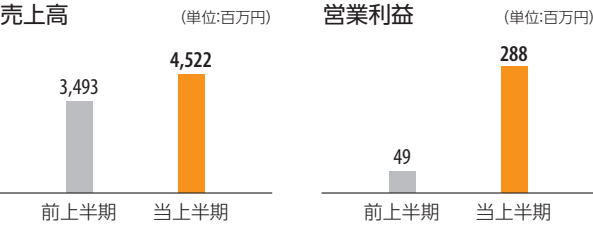
- ・ペットボトル飲料は、自販機・コンビニ向けの回復により増収増益
 - ・缶飲料は、生産の効率化により増収増益
 - ・委託品は、炭酸飲料の増加により増収増益
- 以上の結果、当事業部門全体の売上高は21億7千6百万円（前年同期比 1億8千1百万円増、同9.1%増）、営業利益は1千5百万円（前年同期は2億1千8百万円の営業損失）となりました。

産業用部材事業部門

MATERIALS

主な事業内容

パソコンなどに使われる半導体用シリコンウェーハ、都市ごみ焼却設備に使用される各種耐熱炉内用金物、自動車・建設機械向けばね・座金などを製造・販売しており、産業発展に貢献しています。



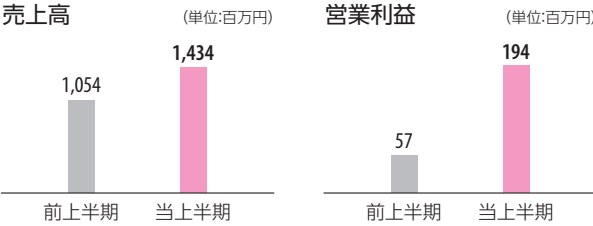
- ・シリコンウェーハは、半導体の需要拡大傾向の継続による増収増益
 - ・各種センサー・マイクロフォン等に使用されるMEMS（微小電気機械システム）向けの超高平坦度ウェーハの製造・出荷開始
 - ・耐熱炉内用金物は、主要製品であるアンカーの回復により増収増益
 - ・ばね・座金製品は、自動車の減産の影響はあったものの、建機向けの好調が継続し増収増益
- 以上の結果、当事業部門全体の売上高は45億2千2百万円（前年同期比 10億2千9百万円増、同29.5%増）、営業利益は2億8千8百万円（前年同期比 2億3千8百万円増、同483.6%増）となりました。

エンジニアリングサービス事業部門

ENGINEERING

主な事業内容

化学・プラント設備・建築物等のエンジニアリング、工業用塗料販売・塗装工事、上下水道・排水処理施設・建築の設計・監理など、多様な事業を展開しています。



- ・設備工事は、工事件数の大幅な減少により減収減益
 - ・塗料販売・塗装工事は、塗料販売の増加、新規塗装アイテムの獲得により大幅な増収増益
 - ・構造設計は、収益性の高い物件の増加により増収増益
- 以上の結果、当事業部門全体の売上高は14億3千4百万円（前年同期比 3億7千9百万円増、同36.0%増）、営業利益は1億9千4百万円（前年同期比 1億3千7百万円増、同236.9%増）となりました。

TOPICS

～FSSC22000認証取得／ジェーシーボトリング(株)～

当社グループのジェーシーボトリング(株)において、2020年12月にFSSC 22000を認証取得いたしました。

FSSC22000（Food Safety System Certification）とは、食品安全マネジメントシステムの1つです。オランダのFSSC（食品安全認証団体）が、消費者に安全な食品を提供することを目的とした食品安全マネジメントシステムの確立を目的としてISO22000（HACCP+PRP）とISO／TS22002シリーズを組み合わせて開発した国際標準規格です。

国際標準規格であるFSSC22000を認証取得し、国際的に通用する食品安全の確保、製品の安全性証明ならびに対外的な会社の強みとして継続運用していきます。



(単位:百万円)		
連結貸借対照表		
科目	当第2四半期 2021年9月30日現在	前 期 2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	21,512	20,746
固定資産	30,713	30,207
有形固定資産	19,805	19,874
無形固定資産	88	83
投資その他の資産	10,819	10,248
資産合計	52,225	50,953
負債の部		
流動負債	13,455	12,834
固定負債	8,662	9,142
負債合計	22,118	21,976
純資産の部		
株主資本	25,318	24,597
資本金	2,099	2,099
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	22,192	21,460
自己株式	△ 166	△ 155
その他の包括利益累計額	4,788	4,379
純資産合計	30,106	28,977
負債純資産合計	52,225	50,953

(単位:百万円)		
連結損益計算書		
科目	当第2四半期累計 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで	前第2四半期累計 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで
売上高	16,006	21,116
売上原価	11,983	17,886
売上総利益	4,023	3,230
販売費及び一般管理費	2,984	3,024
営業利益	1,039	205
営業外収益	286	177
営業外費用	188	69
経常利益	1,137	313
特別利益	209	0
特別損失	6	102
税金等調整前四半期純利益	1,339	211
法人税等	319	76
四半期純利益	1,020	135
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,020	135
(単位:百万円)		
連結キャッシュ・フロー計算書		
科目	当第2四半期累計 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで	前第2四半期累計 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,889	2,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 898	△ 867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,193	△ 944
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△ 1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 195	286
現金及び現金同等物の期首残高	5,496	4,622
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,511	4,909

》会社概要 (2021年9月30日時点)

商 号	カーリットホールディングス株式会社 (英文社名 Carlit Holdings Co.,Ltd.)
設 立	2013年10月1日
資 本 金	2,099百万円
従 業 員 数	1,101名(連結)

》主なグループ会社 (2021年9月30日時点)

● 国内	
日本カーリット株式会社	化薬・化学品・電子材料品・研削材・煙火用材料等の製造・販売、危険性評価試験および電池試験の請負
株式会社シリコンテクノロジー	半導体用単結晶シリコンおよび半導体用シリコンウェーハの製造・販売
ジェーシーボトリング株式会社	清涼飲料水のボトリング加工・販売
カーリット産業株式会社	エンジニアリング、建設業務、白蟻防除の施工・請負
富士商事株式会社	工業用塗料販売および塗装工事
並田機工株式会社	各種耐熱炉内用金物の製造・販売
株式会社総合設計	建築物、工作物、上下水・排水処理施設等の設計および監理
東洋発條工業株式会社	自動車および建設機械向け各種スプリングの製造・販売
株式会社西山フィルター	工業用繊維製品の加工・販売
アジア技研株式会社	スタッドおよび溶接機械の製造・販売
三協実業株式会社	合成樹脂原料の販売
株式会社エスディネットワーク	建築の設計および監理ならびにコンサルタント業務
南澤建設株式会社	建築工事・土木工事の設計・施工
● 海外	
佳里多(上海)貿易有限公司	化学品および電子材料等の仕入・販売

》役員 (2021年9月30日時点)

取締役		監査役	
代表取締役社長	金子 洋文	常勤監査役(社外)※	野沢 勝則
取締役兼専務執行役員	森下 貴	監査役(社外)※	松尾 典男
取締役兼執行役員	岡本 英夫	監査役	青木 章哲
取締役兼執行役員	坂田 貞二	監査役	岩井 常道
取締役兼執行役員	澤村 文孝	執行役員	青山 強
取締役兼執行役員	谷内 俊文	執行役員	高橋 茂信
取締役(社外)※	大村 扶美枝		
取締役(社外)※	山本 和夫		
取締役(社外)※	新保 誠一		

※を付した役員は東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

(2021年9月30日時点)

》株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	24,050,000株
単元株式数	100株
株主数	25,755名

》大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,614	10.9
みずほ信託銀行(株)退職給付信託 丸紅口 再信託受託者 (株)日本カストディ銀行	1,997	8.3
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	942	3.9
日油(株)	915	3.8
みずほ信託銀行(株)退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 (株)日本カストディ銀行	913	3.8
(株)日本カストディ銀行(信託口)	779	3.3
明治安田生命保険(相)	700	2.9
長瀬産業(株)	700	2.9
(株)大阪ソーダ	618	2.6
芙蓉総合リース(株)	522	2.2

》所有者別株式分布状況

